

環境経営の推進

神戸製鋼グループは、地球環境の保全がすべての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定し、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。社内に環境経営委員会を設け、グループ全体で環境経営に取り組んでいます。

環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践による更なる企業価値向上』
—グループの環境力向上—

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

- ① 環境に配慮した生産活動
- ② 製品・技術・サービスでの環境への貢献
- ③ 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、環境力を高め企業価値を向上させる。

グループ環境経営推進体制

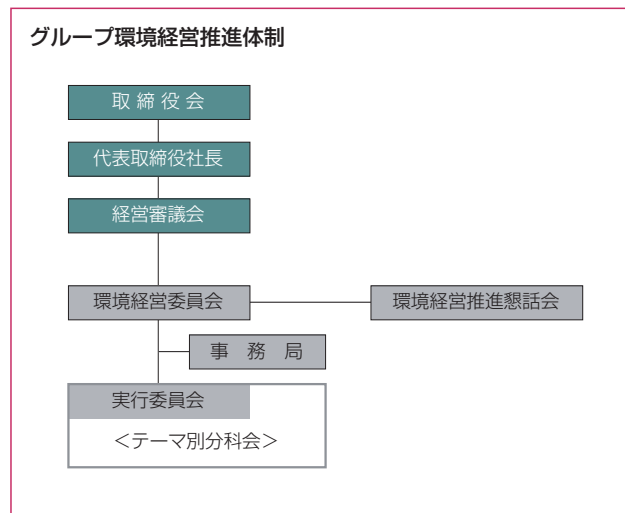
環境経営基本方針に基づく6つの実施事項を検討、提言する機関として「環境経営委員会」を設置し、環境経営を推進しています。

環境経営委員会は年1回開催し、年間の取り組み実績を確認・チェックするとともに、今後推進すべき事項を明確にして経営審議会に報告、提言します。



また、特に取り組むべきテーマについてはテーマ別分科会を組織し、迅速かつ的確に対応すべく活動を推進しています。

なお、必要に応じて環境経営推進懇話会を開催し、社外の学識者より適宜アドバイスをいただく体制としています。



地球温暖化対策

いま、企業は、地球温暖化問題への早急な対応を求められています。神戸製鋼グループは、地球温暖化問題への対応においても、あらゆる事業活動において省エネルギーなどの合理化や研究開発を推進し、各業界の自主行動計画の目標達成と将来に向けた更なる省エネルギー・CO₂排出量削減に取り組んでいきます。

生産工程における省エネルギー

当社グループは、2010年度、グループ全体で223PJのエネルギーを使用しました。そのうち約95%が鉄鋼関連事業、約4%がアルミ・銅関連事業によるものでした。

各事業部門において、高効率設備導入、排熱回収などの省エネルギー対策や、燃焼管理改善・生産効率向上などの操業改善を実施しています。

生物多様性への貢献

当社グループは、環境経営として取り組んできた活動を生物多様性の視点で整理した、独自の指針を策定しました。当社グループの主な取り組みを紹介します。

コベルコ生物多様性指針

当社グループは、生物の多様性の保全が重要であることを認識し、ここに指針を定め、生物多様性の保全のための活動を推進する。

1. 事業活動が生物多様性に影響を与えていることを認識し、その影響を低減するため継続的に努力する。
2. 生物多様性に貢献する「製品・技術・サービス」の開発に積極的に取り組む。
3. 生物多様性に関する取り組みを開示し、社会と共有する。
4. 地域社会と連携して生物多様性に関する活動を推進する。
5. すべての従業員が、生物多様性に配慮した行動を積極的に行う。

「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に認定されました。

灘浜サイエンススクエアのビオトープ

当社の地域交流施設「灘浜サイエンススクエア」は、COP10の開催に合わせて(財)都市緑化基金が全国で募集した「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」の一つに認定されました。

灘浜サイエンススクエアでは、施設内にビオトープを設けて生物多様性の保全に努めるとともに、NPO法人や専門家と連携を図りながら、地域の子供たちを対象とした生き物の観察会などを定期的に開催しています。海岸の埋立地という厳しい自然環境にあるにも関わらず、このビオトープでは希少種を含む生態環境が再生できつつあり、地域の環境教育の場としても活用されていることなどが評価されました。当社は、このビオトープを、大切に守っていく考えです。



多様な生き物とふれあう観察会

鉄の副産物が、海藻や魚を育みます。

鉄鋼スラグを使った新型魚礁の開発

当社では、鉄鋼製造の副産物である「鉄鋼スラグ」を環境保全修復材料として活用するため、神鋼スラグ製品(株)・神鋼建材工業(株)・(株)コベルコ科研と共同して、鋼製魚礁と組み合わせた「鋼製藻場魚礁」を、家島諸島(兵庫県姫路市沖)海域、神戸空港北側護岸や沖縄県与那原町の周辺に設置し、産官学の協力/連携のもと、海藻の育成や漁場環境の改善を目的とした調査研究を開始しています。

鉄鋼スラグに含まれる鉄分やミネラルなどの栄養分により海藻が繁茂するなど、海洋環境修復への効果が期待されます。

現在のところ、海藻の繁茂や魚の回遊が見られ、順調な経過となっています。



鋼製藻場魚礁



兵庫県姫路市沖に設置した魚礁の3ヵ月後(左)と6ヵ月後(右)の様子

人々の安全と、川の生態系をともに守ります。

格子形砂防えん堤の建設

当社の格子形砂防えん堤は、全国各地の土石流危険渓流に設置され、土石流を効果的に捕捉して人々の安全を守っています。近年、環境保全の観点からも、自然と共生しやすい格子形砂防えん堤が脚光を浴びています。

格子形砂防えん堤は河川の水流を阻害しないため、平常時は無害な土砂を下流に流し、海岸線の後退や河床の低下を防いでいます。また、格子形砂防えん堤は魚などの自由な往来を妨げないため、水棲生物の生態系の保全にも効果を発揮しています。当社では、格子形えん堤の更なる普及を目指し、大規模な格子形砂防えん堤の開発を推進しています。



五十沢川砂防えん堤(新潟県)